

「本物を見る」

宇治電化学工業株式会社

執行役員 川村進一氏



明けましておめでとうございます。

令和となって初めての新年となります。昨年より施行された働き方改革関連法など 2020 年以降も労務管理においては環境も変化を続けています。労務管理者協議会では、これらの時代の変化に対応しながら、適切な労務管理を実行できるように、例会を通じて、情報提供するとともに、研鑽を深めてまいります。会員の皆様、労務管理者協議会の活動に積極的にご参画頂きますようよろしくお願いいたします。

「本物を見る」

年明けに去年の話になり申し訳ないが、男子プロゴルフのカシオオープンを観戦する機会があった。今まではプレーもしないのにゴルフ場にわざわざ行くのも面倒と思い敬遠していたが、去年は偶然にもチケットを手に入れた。

結果から言うとすごく楽しめたし、感動もした。ただ何の準備もせず見に行った間抜けさが露呈したのが悔やまれる。一番の見所であったはずの C キム選手のホールインワンも、石川遼君の最終ホールのイーグルも、帰って録画中継を見て、はじめて知るといふ…。何の準備もせずにチケットだけ持って、只々ゴルフ場をウロウロしたのはもったいない。ゴルフと一緒に戦略が大事(私のゴルフはそのレベルではないからその大事はわかっていない)。

とはいえ、試打会、プロ仕様の練習グリーン、スイングビデオ解析、おいしい屋台などさまざまな企画が催され、ウロウロしただけでも十二分に楽しませてもらった。試打会しかできなかったが、コース上の芝の上で、コースに向けて打てたのは気持ちよかった。

前置きはこれくらいにして、

「本物を見た」感動は忘れられない。プロゴルファーのスイング、打球、インパクトした時の音 etc、生で見ると、その迫力には心揺さぶられた。

プロ野球の選手(でかい)くらいをイメージしてたが、プロゴルファーの人たちは実際に見てみるとそんなにでかくない。石川遼君なんかは思っていたより小さいなあという印象(一緒に回っていた選手が外国人だったからかも)。それが、スイングすれば軽〜く振っているようでありながら、打った瞬間の何かはじけるような音、淀みないボールの方向性、打球の速さ。何もかもが予想をはるかに上回る迫力。他人のゴルフなんてあまり長い時間見てもつまらないかと思っていたが、そんなのも吹っ飛んで惚れ惚れして見ていた。

たまにコース、そのために思い出したように練習場に行くという、にわかゴルファーの私。何か参考になるかなとも淡い気持ちも忘れ、何か芸術作品の絵画をみるようにいつまでも見ていられた。

後日、お酒の席でゴルフも共にする友人らとゴルフ談義、「何か参考になったか」と聞かれるが、感動したというしか…。自分がやっているゴルフと観戦したプロゴルフは競技が違うだろうと。隣のおじさんが「プロゴルファーの彼らはゴルフ場にお金を稼ぎに来ている、君たちも僕もゴルフ場にお金を払いに行っている」と。

今回、本物を見ると感動することは十分に味わった。何年も開催されているプロゴルフのトーナメント(男子も女子も)、今まで出不精で観戦に行っていなかったことが残念。春の女子ゴルフは渋子フィーバーで大変なことになりそう。カシオは今年も黒潮で開催する。話変わるがサッカーの高知ユナイテッドのおかげで JFL が高知でも見られる。高知でも本物を見る機会が増えてきそう、様々な観戦機会、重い腰あげて見に行ってみようと思う!それと、一大イベントの東京オリンピック、高知からだとか何かよその国の出来事のような感覚だけど、去年の観戦チケット抽選。エントリーだけはしとけば良かった。